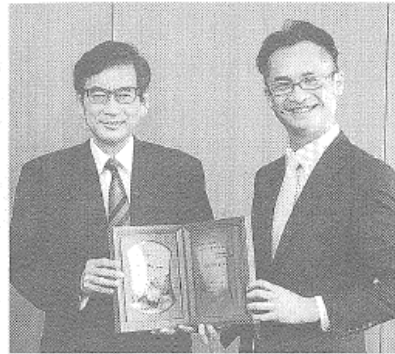


(第三種郵便物認可)

名南M&A 名証2部に



名証の竹田社長（左）から篠田社長に記念盾が贈られた

M&A（合併・買収）仲介・コンサルティングの名南M&A（本社名古屋）は17日、名古屋証券取引所セントレックス市場から、名証2部に上場市場を変更した。2019年12月にセントレックス市場に新規上場後、1年で2部上場を果たした。名証の竹田正樹社長から上場市場変更の記念盾を贈られた篠田康人社長は、「引き続き地域密着のM&Aアドバイザー企業として、当地区のM&Aのご支援に尽力したい」と語った。

名南M&Aは、01年に名南経営（現名南経営コンサ

ルティング）の一部門として設立し、14年に分社化した。セントレックス市場に新規上場後も堅調な業績を維持。20年9月期決算は、

M&A仲介の成約件数が前期比19件増の61件となり、増収に。経常、純利益も2桁の大幅増益だった。

同日、コロナ感染症拡大防止の観点から記者会見は中止したが、篠田社長は「昨年のセントレックス市場上場から最短で市場変更できたことは、（株主や取引先企業など）皆さまのご支援のたまものと感謝申し上げます」とのコメントを寄せた。友好的なM&A支援を通じて地域社会の活性化に努める方針だ。

豊田会長「軽は国民車」

共生の仕組み促す 自工会

日本自動車工業会の豊田章男会長（トヨタ自動車社長）は17日、オンラインで報道各社の取材に応じ、「軽自動車は国民車」と述べて急速な電動化と脱ガソリン目標を打ち出した国などに對し、厳しい対応を迫られる軽自動車に理解を求めた。

経済産業省は2030年代半ば、東京都は30年までにガソリンエンジンだけでなく新車の販売をゼロにする方針を示し、ハイブリッド車（HV）や電気自動車